

高野火祭り2026

毎年恒例のどんど焼き、そして芋煮会を下記の通り開催します。
どんど焼きは地域のきずなを確認する場としての意味合いもあります。
皆様のご参加お待ちしております。

受付で引換券を先着<100名様>に配布します。

① あったかい豚汁



10:30配布 ・ 11:00お渡し

② 丸もち と竹枝



10:30配布 ・ 11:30お渡し



芋煮会

&

あわんとり

どんど焼き

正月の風物詩

1/18日

新春

どんど焼き



浅間神社下水門脇・午前10時30分点火(小雨決行)

お楽しみ「出店」



10:00 お楽しみ「出店」販売スタート

10:30 ご神木(やぐら)への点火

11:00 利根川産里芋を使った豚汁をサービスします

11:30 “どんど”の火で餅を焼きます



正月の松飾り、しめ縄などをお持ちください。
準備は8時から始めます。皆様のご協力お願いいたします。

■主催 利根川と自然を考える会

■協賛 高野地区まちづくり協議会

どんど焼き豆知識

日本の“どんど焼き”は小正月の一連の行事の一環として行われてきました。因みに、2018年11月、日本の「来訪神」(秋田県男鹿のナマハゲや沖縄県宮古島のバーントゥなど)はユネスコ無形文化遺産に登録されました。

この来訪神の祭りも

小正月一連行事の一つです。



ナマハゲ



バーントゥ

小正月を祝う

どんど焼きの意味合いは大きく3つあると言われています。

- (1) 歳神(祖霊)をお見送りする。
- (2) この一年の豊作(農村では五穀豊穡、漁村では豊漁、商いの商売繁盛)をさがんする。
- (3) この一年の各家族の健康と地域の厄払い・防災を祈願する。

どんど焼きの意義

- (1) まず、火祭り会場にご神木建てを行います。その年に豊作や福をもたらす神様の依り代となります。災害・疫病から地域社会を守り、末永い発展を祈願し、暮らしの安全・安心を祖霊神に祈ります。
- (2) 次世代を担ってくれる子供は社会の大事な宝物であり神の使いです。いつしか子供たちは、地域の各家庭を訪ね、この一年の福を招くための予祝をするようになります。地方によっては大人が仮面をつけて各家庭を訪ねます。これが来訪神です。「仮面」をつけて街に繰り出す風習は世界各地にみることができます。
- (3) 最後の締めくくりが火祭り(どんど焼き)です。ご神木を焼いて歳神に願をかけます。そして神をお見送りします。正月飾りを焚き上げることにより、正月気分 に終わりを告げて、農作業などこれから一年間の各仕事の準備に取りかかります。

このようにどんど焼きは、地域社会を構成する人々が一堂に会し、「どんど」の火を囲んで、この一年の豊穡と健康そして防災を祈るとともに、地域の人々の「きずな」を確認する「場」として大変重要な行事と言えます。



車でのご来場は可能ですが整備された駐車場はありません。
健康のため、地元をゆっくり観察しながら、歩くか自転車がお勧めです。



から揚げ、肉まん、
餃子、綿あめ など、
楽しいお店も出店します。



浅間神社下水門脇



車でのご来場は可能ですが、10 台程度のスペースしかありません。
健康のため、地元をゆっくり観察するため、歩くか自転車がお勧めです。